



にこにこニュース

大分こども病院

2022・10月号 (No.390)

〒870-0943 大分県大分市片島 83-7
https://www.oita-kodomo.jp/

(代表) TEL097-567-0050

(救急) TEL097-567-2311

(Fax) TEL097-568-7057



気管支喘息



医師 吉岡 純



気管支喘息とは？

空気の通り道である気管支が狭くなり呼吸が苦しくなって「ヒューヒュー」「ゼーゼー」となる状態を繰り返す病気です。特に吐く息が苦しくなります。

気管支喘息では慢性的に気管支に炎症が起こっており、簡単な刺激で気管支が腫れたり、粘液(痰)が分泌されたり、気管支の筋肉が縮んでしまったりして発作が起こります。炎症が長く続いてしまうと気管支自体が硬くなり(リモデリング)、治療が難しい状態になってしまいます。

気管支喘息を悪化させる原因

感染症、ダニやペットの毛、気圧・気温の変化や大気汚染、タバコ、受動喫煙、激しい運動、カビ、ストレスなどがあります。自分がどのような悪化要因と関連しているかを知ることによって、発作を防ぐ対策を立てることができます。

【 強い喘息発作のサイン 】

幼児（1歳から就学前）

- ・遊べない、話せない、食べられない、眠れない、歩けない
- ・顔色が悪い、ボーッとして興奮している
- ・ゼーゼーが強い、息を吸うときに肋骨の間がへこむ、脈が速い

乳児（0歳）

- ・母乳やミルクが飲めない、咳で眠れない
- ・唇や顔色が悪い、機嫌が悪く泣き叫ぶ
- ・激しく咳きこんで嘔吐する
- ・息を吐くときにヒューヒュー、ゼーゼーが強い、うなり声がある
- ・呼吸が速い・あらい、息を吸うときに肋骨の間がへこむ、鼻の穴が開いている

このような症状がある場合はすぐに医療機関への受診が必要となります。上記のようなサインがなくても発作時の薬がない場合や薬を使用して1時間程度たっても症状が改善しないなどの場合は受診しましょう。

対策と治療方法



①悪化因子への対策

個人ごとの悪化要因に対策を立てます。日本での主な悪化要因のダニには、こまめな拭き掃除や、適切なふとんの管理、絨毯、カーペットを敷かないといった対策をとること。本人や周囲の人の禁煙。

②薬物療法



i) 非発作時（長期管理薬）

普段から使用して炎症を抑え、発作を予防する薬として吸入ステロイド（炎症を抑える。気管支に直接効果を発揮するため少量で効果が得られ、内服や点滴を長く使用したときのような副作用はほとんどない）や、ロイコトリエン拮抗薬（アレルギーを抑える。吸入ステロイドよりは効果が弱い内服という使用しやすさがある）などがあり、各々の喘息症状、発作頻度を評価しながら喘息の長期的なコントロールを行います。

ii) 発作時

狭くなった気管支を広げるため、β2 刺激薬（炎症を抑える効果はない）の吸入を行います。酸素の値が低い時には酸素投与も行い、必要に応じてステロイドの全身投与（点滴）などを開始します。呼吸状態の改善がない時には気管挿管を行い呼吸管理が必要となる場合もあります。

さいごに



気管支喘息は症状のないときでも慢性的に気道の炎症が持続することで少しずつ治りにくい状態になってしまう可能性があります。発作がない時でも適切に長期管理の薬を使いながらコントロールを行っていくことが重要です！

定期的にかかりつけ医などの医療機関で喘息状態の評価を行いながら治療を行い、呼吸状態悪化時には速やかに受診するようにしましょう。



インフルエンザ予防接種のご案内

例年通り**保健センター**（院内）での接種に加え、**ドライブスルー**（外来検査センター）での接種も行ないます。それぞれ注意事項をご確認の上、ご予約ください。おとなの方もご利用ください。

《 ドライブスルー 》

- ◇ 予約開始：10月中旬予定
- ◇ 金額：1回 3,000円（クレジットのみ）
- ◇ 予約方法：当院ホームページもしくはQRコード



《 保健センター 》

- ◇ 予約開始：9月29日（木）
- ◇ 金額：1回 3,000円
- ◇ 予約方法：当院ホームページまたはQRコード



※ ほっとクーポン等利用できます

== 注意事項 ==

- ほっとクーポンは利用できません。
- クレジットカード情報の登録が必要です。
- 補助制度がある場合はご利用いただけません。保健センターでの接種となります。（65歳以上、由布市など市町村で補助がある方など）
- 自家用車で来院できる方。
- **記入済みの予診票を持参してください。**ご自宅で検温し記入をお願いします。（予診票は病院受付にあります。またはホームページから印刷できます。）

スムーズな接種のため、事前に予診票の記入をお願いします。予診票は受付にてお配りしています。

ホームページからも印刷できます。

ご不明な点がありましたらお問い合わせください。

（電話 097-567-0050）

小学校入学前に

ポリオワクチンと三種混合ワクチンを



三種混合ワクチン

百日咳とは、百日咳菌で起こる感染力の強い病気です。最初は鼻水や軽い咳などのかぜ症状が出ます。その後、コンコンコンと短い咳が続き、ヒューと息を吸い込む特徴的な咳をします。咳が続くため息ができず、苦しくて顔が真っ赤になります。重症になると無呼吸や脳症を起こすことがあり、乳児が感染するととても危険なので、1歳児までに4種混合ワクチンを4回接種して予防します。

1歳頃にワクチンで得られた免疫も、百日咳に関しては小学校入学前には少なくなっていることがわかってきました。

最近の調査では、小学校入学後に百日咳になる患者さんが増えています。大分市内でも小学生での流行がみられます。

ポリオワクチン

日本では1960（昭和35）年にポリオ患者の数が5千人を超え、かつてない大流行となりましたが生ポリオワクチンの導入により、流行はおさまりました。1980（昭和55）年の1例を最後に、現在まで野生の（ワクチンによらない）ポリオウイルスによる新たな患者は出ていません。

今でも海外から、ポリオウイルスが国内に入ってくる可能性があります。海外では依然としてポリオが流行している地域があります。感染しても、麻痺などの症状が出ない場合が多いので、海外で感染したことに気が付かないまま帰国（あるいは入国）してしまう可能性があります。

ポリオには有効な治療法がありません。感染して重症になると手足に麻痺が起こり、後遺症として残ることがあります。

欧米ではすでに小学校入学前に追加接種が実施されています。ポリオに対する抗体価が低下する前に、就学前のポリオワクチン接種をお勧めしています。

これらは予防接種で防ぐことができる病気です。

年長さんのお子さんは、MRワクチンやおたふくかぜワクチンと同時接種もできます。

ポリオ、三種混合、おたふくかぜは任意接種です。ご希望の方は当院にご相談ください。

